

豊かな里山 次代へつなげ!

【主な記事】

- 1 面 久重保育園卒園式・久重小学校卒業式
- 2 面 集落支援員紹介と新事業
- 3 面 緑ヶ丘団地食堂、久礼野朝睦会、ありがとう田中さん
- 4 面 久重 youth こどもまつり、久重 natural チーム活動報告

久重地域連携協議会 ニュース

3月1日 久重人口
世帯 人口
全体 492 1013
(+3) (+3)
久礼野 140 295
重倉 352 718
()内は前月との比較

—第64号—
2025.3.25発行
発行責任者:林照男
編集:情報部会
高知市重倉 1596-134
電話 090-4501-3190

ホームページ:「久重連携」で検索ください。



翔べ!久重の子!

連携協議会より卒業生へお花と卒園児へ卒園証書ホルダーを送りました



先生、地域の方に
見守られて

桜のつぼみが膨らみ始め、久重地域にも旅立ちの季節がやってきました。

3月16日、久重保育園年長児きりん組さん2名が卒園。保育園の芋畑のお世話をしてくれた、保育園北側の松村さんは「卒園おめでとうございます。いつも元気に挨拶してくれてありがとう!勉強頑張ってね」と声をかけられていました。

3月21日、久重小学校6年生6名が卒業しました。特認校制度で通学してくれた3名のお友だち、久重小学校を選んで通って来てくれてありがとう。久重の里山で過ごした日々を忘れず、中学校でも頑張ってください。久重里山まつりや久重豊穰祭にはぜひ遊びに来てくださいね。

それぞれ一人ひとりのその子らしさを伸ばし認めてくださった先生方。行事や登下校の見守りなど、あたたかく声をかけてくださった地域のみなさま。

保育園、小学校の年長者としてみんなをリードした卒園児。卒業生は次のステージへと巣立っていきます。

“翔べ!久重の子!”

小さな集落活性化事業 集落支援員の中屋さんに突撃インタビュー！

今年2月からスタートした、小さな集落活性化事業(以下「小集活事業」)のキーパーソン、集落支援員の中屋さん(緑ヶ丘団地)に現状や目標をお伺いしました。

Q・久重地域においての小集活事業とは？わかりやすく教えてください

A・久重地域の小集活事業は2本柱です。**里山再生事業**と**福祉事業**。里山再生事業は耕作放棄地や荒れた竹林を再生させ、イベントを開催し、地域の方に披露できるくらいまでにしたい。関係人口を増やすのも目標の一つです。福祉事業は高知市訪問型B事業に必要な生活支援ボランティアを増やし、小さな困りごとの解決力の向上を目指します。

Q・中屋さんの役割は？

A・里山再生事業では、実態調査・土地所有者の確認・関係機関との連絡・調整・相談などです。福祉事業では住民の皆さんの相談窓口となつて、オレンジダイヤルも預かります。福祉分野の専門知識はありませんので、行政や専門機関、連携協議会へ繋ぎます

Q・勤めていた仕事を退職して、集落支援員の話を受けたと聞きました。この事業に関わろうと思った理由を聞いていいですか

A・学生時代は環境科学を専攻していて、条件不利地域や里山の重要性について卒論を書いたんですよ。必要な田舎…人が関わることによつて維持されているんです。ノウハウはあまりないですが、やっていたことの延長線上として、人生最後の仕事と思ひ、頑張つてみたいと思いました。また最も重要な動機は2つあり、一つ目として私の実家が空き家となつていたことです。両親がいなくなりしばらくの間は家の管理をしていましたが、現在は山村留学生向け住宅と

して教育委員会に提供しています。人が住まないより住んでいただいた方が家のためにもいいと考えたからです。2つ目は放置林を所有していました。正確にはちゃんと相続ができていなかったことです。発覚した原因は地籍調査の通知が届いたことでした。保安林だった可能性もありますがどこにあるかも知りませんでした。このように里山再生に関わることは、自分自身の問題でもありました。このような経験もあり関わつてみようと思ひました。

◇◇◇

中屋さん、突然の声掛けにも関わらず対応してくださりありがとうございました。スタートしたばかりで試行錯誤しながら活動されています。前職では総務部・営業部・化粧品部等、あらゆる部署で活躍してこられたエキスパート。小集活事業でも臨機応変に対応してくださるのではないかと思います。にこやか、ゆつくり丁寧に説明してくださる中屋さんのお人柄。安心して相談できそうですね。

情報を効率よくキャッチし、地域住民同士で支え合える地域を目指し、連携協議会も二人三脚で取り組んでいきます。



緑ヶ丘団地の事務所にて

オレンジダイヤルは5月連休明けからスタート！ 090-4350-8332(月～水・9時～17時まで)

お困り事対応可能例

- 電球の交換
- ゴミの分別
- 斜面草刈り
- 物干し
- 家具の移動
- 庭木の剪定
- お米や飲料などの重いものの運搬



※身体介助を伴わない、30分程度で完結する生活支援活動です。状況確認の為、一度訪問させていただいてから支援を検討する場合があります。

対応不可例

- 犬の放し飼いや野良犬
→ 保健所・警察・動物愛護センターへ
- ご近所トラブル(音やニオイ)
→ 警察・市役所生活課・市民相談窓口
- 公道への庭木のはみ出し
→ 市役所道路課
- 飲料水問題
→ 地域で高知市と話し合い



緑ヶ丘・団地食堂おしゃべりタイム

団地食堂の始まりは仲良しグループの食事会

この輪を団地の集いの場に広げたいと、8月・10月を除く毎月第3土曜日に開店。

コロナが明け2023年5月再スタートした団地食堂も通算で4年目に入ります。公民館まで来れない高齢者のために、弁当500円の販売と配達も始めました。また、高齢者のレジタル生活応援のために、何でも何回でも聞いてオッケーの「こまったさんのデジタル相談コーナー」を作りました。

開店日のお知らせは立て看板と、月に一回発行の団地食堂おしゃべりタイムニュースの配布。

当日団地食堂の来店者は、町内会役員と飲み仲間のおじさん達、食事を楽しんでる常連のおばさん達、少ないけど常連の子ども、そして、子育て世代の家族です。ワクワクがやがや、楽しい時間が共有されます。

クッキングガールズと地域の人とのつながり

調理するスタッフクッキングガールズは14人です。毎回弁当込みの60食を目標に調理しています。補助金でユニフォームも揃えました。

地域の方の食材提供も助かってます。特に国友農園さんとは餃子用のニラも含め「今月は何が貰える？」の関係です。他にも「〇〇があるので取りに来るかよ」と有り難い声がかかります。

500円バイキング料理の危機

気候変動で衛生面に気を使っている上に、今の物価高、米の高騰は厳しい！500円バイキング料理の存続危機です。毎回カレーライスでかまん、と言われるけど、メニューを減らさず、野菜をもらいに東奔西走、キャベツの重さがつらくなった身体にムチ打って60食の買い出しにも頑張っています。

楽しさもお腹も500円で満足！



久礼野親睦会

毎年恒例、久礼野&久礼野団地の親睦会。今年度は昨年度より参加者が増え、大賑わいです。いつものメンバーと新メンバーが入り乱れ交流。お引越しされてきたご家族も自己紹介。若い家族や子どもたちのにぎやかな声が公民館を明るくしました。

班長さん、役員さんが事前に打ち合わせ準備をしてくれて、手作りの豚汁やお料理も振る舞われより一層楽しい会食になりました。年に一回の交流親睦会が今年も盛会となりました。



ありがとう、田中さん

久重小学校事務職員の田中朋広さんがこの度、久重地域から離れることになりました。田中さんは6年前の2019年4月に久重小学校に赴任。長年にわたり、主体的に学校と地域を繋いでくれました。通常業務の合間に、地域がやるべき事務作業も担ってくださり、おんぶに抱っこ状態。2021年からコミュニティカレンダーを情報部会が受け持つことになってからも、パソコンが苦手な私たちは「枠がずれるんですがどうですか?」「曜日とか祝日が一瞬で変わる方法はないですか?」と、なんでもできる魔法使いのように頼りきっていました。そして翌年度には西暦を入力すると曜日や祝日がパツと変更されるようなシステムを確立。田中さんがいてくれたから、パソコン音痴の情報部員もなんとか作業することができたのです。「子どもたちの校外活動の引率も楽しかった。大きな学校の事務職員はあんな経験できない」と久重小での勤務を振り返ってくれました。休み時間には児童の鬼ごっこに参戦。「学校一早い」と子どもたちから尊敬の言葉も聞きました。そんなスーパースタッフ職員田中さん、3月末で県職員を退職され、ITエンジニアに転身されるとのこと。得意分野を活かして、新たなステージに立つ田中さんのご活躍を応援しています。



「久重小学校に初出勤した時、職員玄関で6年生の男の子が『久重小学校へようこそ!』と声をかけてくれたことを今でも覚えています。学校を好きじゃないと自然に言えない言葉ですよ。ね。」と6年前を振り返る田中さん。

久重 youth

今年も開催! だい2かいきゅうじゅうこどもまつり

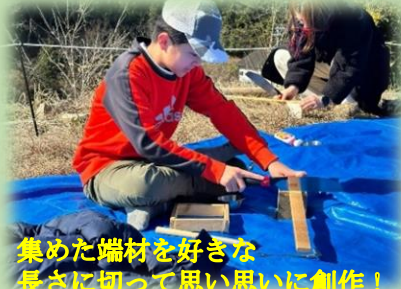
昨年に引き続き、今年も久重 youth と久重地域連携協議会の共催でこどもまつりが開催されました。参加者の中には youth のインスタを見て参加して下さった方もいました。

昔遊びコーナーにはコマ回しと竹馬があり、大人も童心に戻り子どもたちと遊ぶことを楽しんでいました。弓矢のコーナーでは、なかなかまっすぐ飛ばずに「とぼん」と言っていた子どもたちもいましたが、飛ばせるようになった子どもたちが「こうやってやったらとぶで」と教え合う姿がほほえましかったです。あきらめずにやっているうちに飛ばすことができるようになり「やったー!」と達成感を感じていました。また、久重豊稜祭で人気の自由工作ですが、今回はのこぎりを使う新しい体験もしました。どの子どももケガをしないように慎重に使っていました。

普段の生活の中で経験できない体験がたくさんのごどもまつりになりました。



何度もチャレンジ! しなる竹の弓に、よく飛ばカヤの矢。



集めた端材を好きな長さに切って思い思いに創作!



青少年協の橋詰茂さんと作った竹馬

久重 natural チーム

7年間の活動が人のつながりつくる

こうちこどもファンド事業 卒業!



こども審査員からのするどい質問に答える。公開審査会

久重地域連携協議会が母体となって支えた子どもたちの活動。さまざまな学年の多様な子どもたちが丸ごと認められ、自分の居場所をみつけた。当初 地域の魅力を地域内外に発信したいと夢を持つ。7年後、久重地域の名前が高知市内に、県下に、全国へと羽ばたいた! できないことはないとの無限の可能性を子どもたちに教えてくれる。地域のまちづくりに入り込んだ子どもたちは、子どもたちの団体久重 youth を発足する! 子ども自ら自治的活動を繰り広げる姿が多くの場面で評価を受ける。子どもたちが重視しているのは学年を越えた仲間との関わり、地域の「人の魅力」。人とのつながりなくしては成し遂げなかった取り組み。高知市こうちこどもファンド事業は卒業するが、地域での活動を継続する子どもたちは今後ますます飛躍し続けることだろう。(久重 natural チーム 大人責任者 武林)

久重のまちづくり活動が高知市で高く評価!!
～高知市まちづくり未来塾で事例発表

3月15日、たかじょう庁舎にて開催。主催は高知市まちづくり未来塾。第11回のテーマは「地域と学校」…。

参加者募集は市民に広く呼び掛けられ 80名以上が来場。町内会連合会、各町内会、学校関係、コーディネーター…。

事例発表は「春野コミュニティスクール」、「久重 natural チーム」の2本。久重 natural チームの発表と質疑応答は学生中心で担い、大人のなかに入ったグループワークでも策定会議しながらに代表発表もヒョイとこなす姿はお手のもの! 質疑応答で子どもの生の声を聞いた参加者は、今後のまちづくりに自分自身がどう関わっていくのかを考えた! と感想を寄せた。子どもたちの姿は、これまで久重地域で培った技術を地域外の大きな場所でも発揮した。子どもたちの主体性に驚く高知市のまちづくりに関わる人々が、久重地域を高く評価する。



グループワーク

代表発表



会場の様子

編集後記 …○散歩に出かけた妻がビニール袋いっぱい土筆(つくし)を持って帰ってきた。我が家の春の始まりです。(イツコウ) ○中学校の卒業式に参加しました。大きく成長した子どもたちに涙が止まりませんでした。4月からみんな頑張れ〜! (健康悠母) ○連携協成から10年。今では若者たちが真ん中で引っぱり、久重地域はどんどん成長。おじさんたちもひとり下り坂を楽しむどころか、引っぱり張られながら頑張らねば…(リン)

○春が来た! 新生活スタート。子どもたちが地域の方との集いの場にと整備する「ひだまりの丘」で、お花見をしよう! と住民が実施計画中!(スノー) ○わが子がこの春久重小学校を卒業した。小学校最後の給食はチキンカレーライス。「今までで一番美味しかったです!」と満面の笑み。「久重小学校の給食は美味しい」と、赴任してこられた先生方も口を揃える。いつも美味しい給食をありがとございます。中学校はお弁当。給食がよかったと言われないよう早起きを頑張ります。(ひろっちゃん)